

■競技上の確認事項

- 1 本大会は、特別に定める小学生バレーボール・フリーポジション制、及び21点ラリーポイント制を用い、他は、平成28年度公益財団法人日本バレーボール協会の6人制競技規則に基づいて行う。なお、コートのおおきさは8m×16m、サービスゾーンの幅は8m、ネットの高さは男女とも2mとする。
- 2 競技方法は、大会1日目は、男子は4チーム、女子は3チームのリーグ戦を行い、2日目は、男子は1位～4位、女子は1位～3位の順位ごとのトーナメントを行う。
- 3 試合開始時刻は、大会日程に記載されている時刻で行うが、コートの設営や移動時間により変更することもある。各会場の競技委員の指示に従うこと。
- 4 試合進行についてはプロトコルの規定により行う。
- 5 各試合、コートチェック終了後5分（試合が連続する場合は15分）間の試合前練習を行うことができるが、ネットを使つての練習はできない。また、登録されたベンチスタッフと選手のみとする。
- 6 試合は、すべて3セットマッチ追い込み形式で行うが、連続する場合は、最大15分間（試合前練習の時間）休憩を取ることができる。
- 7 チーム編成は、監督・コーチ・マネージャー各1名と選手18名以内、計21名以内とする。ただし、選手については、試合ごとに最大14名をエントリーする。（15名以上で編成したチームには、受付時に選手名を記載したエントリー用紙を配布するので、試合ごとにエントリーしない選手を二重線にて消し、当該試合の前試合1セット終了時まで（試合が連続の場合2試合分）監督のサインを記入後、エントリーシート提出所に提出する。）ベンチは、登録されたもののみ着席を認める。
- 8 監督・コーチ・マネージャー章は必ず左胸につけること。なお、ベンチスタッフの内1人以上の者が日体協スポーツ指導員資格証を首から掲げていること。
- 9 ベンチには競技に必要な飲料水（ストロー付きまたはスクイズボトル）、救急用具以外の品物は持ち込まない。
- 10 横断幕（一枚：天地70cm×幅5mまで）やのぼりの掲出は試合該当チームのみ認める。但し、ガムテープなどの粘着テープは使用できない。のぼりは観戦の邪魔にならないように観客席最後列に掲げること。
- 11 応援については、大音響のもの、ホイッスルと似た音が出るものの使用を禁止する。また、競技上妨げとなる場合は、競技役員の指示に従うこと。応援用メガホンなどで壁や手すりなど叩かないようにチームで注意すること。
- 12 ベンチスタッフのエントリー変更、並びにプログラム記載事項の誤りは、11月19日（土）の受付時エントリー係に提出し承認を得ること。なお、変更がない場合も変更用紙に必要事項を記入し提出すること。
- 13 施設電源の使用は禁止する。
- 14 喫煙は指定の場所で行うこと。
- 15 大会使用球は、男子がモルテン、女子がミカサとする。
- 16 試合終了後、両チームは速やかにベンチをあけること。次の試合の両チームは、コートチェック終了後、競技委員の指示があるまではコートに入ることはできない。
- 17 ベンチスタッフのTシャツ・短パンは認めない。
- 18 両体育館とも応援は、原則としてギャラリーからすること。ただし、結城市かなくぼ運動公園体育館のDコート、筑西市下館総合体育館のHコートは、フロアのみのお応援とする。その際、競技委員の指示に従うこと。

■審判上の確認事項

1 トスについて

(1) トスは記録席の前で試合開始 11 分前に行う。

(2) トスにはチームキャプテンが立ち会い、キャプテンマークの付いたユニフォームを着用のこと。

2 公式練習は試合開始 10 分前より、両チーム合同で行う場合は 6 分間とし、単独で行う場合は 3 分間とする。

3 スコアリングシステム

小学生のためのラリーポイント・システム 3 セットマッチとする。

第 1 セットおよび第 2 セットではリードするチームが 11 点目達したとき、第 3 セットでは、リードするチームが 8 点目に達したときは、30 秒間のテクニカルタイムアウトが自動的に適用される。

4 「ネットの下からの相手コートへの侵入」片方の足（両足）または片方の手（両手）が、センターラインを越えて相手コートに触れても、侵入している片方の足（両足）または片方の手（両手）の一部が、センターラインに接しているかその真上に残っていれば許される。他のいかなる身体の部分も相手コートに触れることは許されない。

5 「ネットへの接触」

(1) ボールをプレーする動作中の選手による両アンテナ間のネットへの接触は反則である。

ボールをプレーする動作の中には（主に）踏み切りからヒット（またはプレーの試み）、着地までが含まれる。

(2) 相手チームのプレーを妨害しない限り、選手は支柱、ロープ、またはアンテナ外側にあるネットや他の物体に触れてもよい。

6 選手が負傷して例外的な選手交代をした場合、負傷した選手は、その試合に復帰することはできない。

7 監督は、ラリー中はベンチに座っていなければならない。

8 試合中、ベンチスタッフは、統一されたウェアを着用する。